



「自律・自走し考動する 80 期生」

## ■ 1 年生末 学年の先生方からの一言

今回と次回にかけて、80 期一年生に伴走してくださった学年の先生方からのメッセージを掲載します。

(以下、ブログ上では不掲載)

### ■ 「学びに開く」

「この子は問題を解くのが好きなんですよ」  
「使いすぎて問題集がもうボロボロでした」  
「小テスト毎回ほぼ満点です」  
「よく本を読んでいます！」  
「授業前に、いつも次の準備をしているよね」  
「わからないところを、そのままにしないね」  
「(問題の) 数こなしてきているもん」  
「英・数・国の三教科が満遍なく取れている」  
「大学見学のあと、明らかにモチベーションが上がったね」などなど、これは、考査や模試の結果を分析する中で、先生方が口々に話していた言葉です。学力を積み上げ、結果を出し、そして今後さらに伸びていきそうな 80 期生の姿を、先生方はしっかり見えています。もちろん、学力が下がっていくときは、その逆の行動が目立ってきます。誰もが知っていることですが、学びは具体的行動に表れます。学習に自ら取り組む自走力は、3 年生になって慌てて身につくものではありません。

さて、勉強は苦痛なものなのでしょうか。テストで点数を取るため、〇〇大学に進学するため——そうした「目的」があると頑張れる人は、それで構いません。しかし私は、学ぶことそのものを目的にしていると思っています。好きな音楽を聴く時、「将来に役立つから」な

って理由で聴きません。好きなスポーツをする時も、「成績のため」だけでは続きません。学びも同じです。「好きだからやる」でいい。世界が広がる入口は、いつも「ちょっと知りたい」という小さな好奇心です。私がこれまで見てきた伸びる生徒は、いつも「学びに開いている生徒」でした。

### ■ 「合格した先輩に聞く」

23 日の終業集会では、今年度の受験で合格をつかんだ 78 期生の先輩方が、みなさんに向けてお話をさせていただきます。内容は、生野高校での学習のポイントや心構えを中心としたメッセージになる予定です。先輩から受け継ぐ貴重なアドバイスを、ぜひ楽しみにしてください。

### ■ 報告連絡相談、「自立」の大切な一歩です

最近、「家庭でプリントや成績を保護者の方に見せていない」という声が、いくつかのご家庭から届いています。忙しさや気恥ずかしさ、あるいは「自分のことは自分で」という意識から、提出し忘れてたり渡しづらくなったりすることがあるのかもしれませんが。しかし、「自立」とは、何でも一人で抱え込むことではなく、必要な情報を自分の責任で周囲に伝え、協力を得ながらより良い方向に進む力のことを指します。みなさんの学校生活や進路のことは、自分だけでなく保護者の方にとっても大切な情報です。プリントや成績は、そのための大切なコミュニケーションツールです。特に学年末は、進級に向けて学習を振り返る重要な時期です。これを機に、家庭での報告を「義務」ではなく「自立の練習」とし

て、ぜひ丁寧に取り組んでみてください。自分から伝えることで、保護者の方もみなさんをより理解し、支えてくれるはずです。

「見せるのが嫌だな」と感じたときこそ、成長のチャンスです。

### ■ 当面の予定 手帳にメモしよう!

- 8日(日) 国公立大中期入試(3年)
- 10日(火) 教科書副読本販売(2/26案内済)
- 12日(木) 国公立大後期入試(3年)
- 23日(月) 後期終業式、成績個票配付、  
リーダー研修
- 24日(火)～【春休みⅡ期】

【約40日に及ぶ春休みをⅠ期・Ⅱ期と前後半に区切り、学習計画を立てましょう。】